

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 宮城県東松島市
 本事業の担当部局名 総務部市民協働課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.3 結婚支援事業者との官民連携型結婚支援							
個別事業名	東松島市婚活事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)				継続		
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	平成26年度			
総事業費(A)(円)	1,480,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	160,000	差引額(A-B)(円)	1,320,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,320,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	160,000	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	160,000	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	1,320,000		0	0	0	1,480,000	
	対象経費支出予定額	1,320,000		0	0	0	1,320,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	160,000	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市の人口ビジョン総合戦略及び総合計画に基づき、結婚数や出生数を増加させるための取り組みとして、宮城県と連携し結婚を希望する男女の出会いの場の機械拡充や結婚新生活を応援するための取り組みを継続的に実施するとともに、安心して生育てられる子育て環境の充実を図る。</p> <p><本個別事業の位置付け> 人口ビジョン次総合戦略のうち、戦略3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」及び総合計画の重点プロジェクトである「地方創生・人口減少対策プロジェクト」に位置付けられている。県結婚支援センターとの連携をさらに深化させた婚活支援事業の実施と結婚支援事業者の専門的な知見と及び本市が市民の身近な場で開催してきた婚活支援の蓄積の活用並びに市若手職員等で構成するプロジェクトメンバーの企画案等の相互の強みを活かし、若い世代の多様な結婚支援のニーズを捉えた切れ目のない安心安全な婚活支援事業を開催する。</p>						
番号	項目	内容						
1	婚活イベント参加者向けセミナーの実施	<p>○内容: <<1回・40名の参加>> 婚活イベント参加者男女各20名の参加を想定。セミナー講師は、宮城県結婚支援センターを運営する事業者へ依頼し、婚活イベント初心者も経験者も参加者の誰もが安全安心感を得られる婚活イベントを開催する。イベント前婚活セミナーを男女別に開催し、婚活への動向、成婚者の婚活取組状況等、県が行う婚活支援、マッチングアプリを適切な利用についても説明を行う。また、婚活活動に即役立つ異性への接し方、婚活イベント参加の留意点、婚活イベント後に交際発展につなげる具体策を講師から講話を行い、イベント後の交際発展、継続を目指す。セミナー講師は、国が示す婚活課題データ及び市が蓄積した交際継続発展等の課題等も踏まえ、豊富な専門的な知見も踏まえわかりやすい婚活セミナーを予定する。 ※婚活事業委託業務事業者の選定にあたっては、第三者機関の認証を受けている結婚支援専門事業所を公募により選定する。 ※個別事業4県との共催による初心者向け婚活イベントを年度内前半、市主催婚活イベント個別事業1～3を後半に開催することで、年間を通じ、本市が婚活支援を行う自治体として取り組むことで若い世代の気運醸成を促す。</p> <p>○事業費: <<451,000円>> ①企画運営費: [220,000円] (婚活イベントと同時開催のため1/2ずつ按分) ②講師謝金: [135,000円] 県結婚支援センターを運営するタメニー(株)にセミナーへの講師派遣を依頼 ③会場使用料: [50,000円] (婚活イベントと同時開催のため1/2ずつ按分) ④消耗品費: [5,000円] 消費税額: [41,000円]</p>						

個別事業の内容	2	<p>婚活イベントの実施</p> <p>○内容:《1回・40名の参加》 男女各20名・計40名の参加を想定。イベントの企画運営にあたっては、受注者、県結婚支援センターを受託する事業者による企画会議を通じ、当日の運営、参加者へのアドバイスやフォローアップを予定している。申込年代層、婚活イベント参加経験、事前個別相談等の内容を踏まえた婚活イベント内容、アトラクション等を精査する予定である。イベント終了後にカップリングを行うが、イベント中により多くの異性と連絡先を交換するなど、今後の交際、結婚に発展するための多くの出会いの機会創出を図る。また、イベント後にも興味のある方に県結婚支援センター、マッチングアプリ利用周知を行い、会場内で個別相談に応じる。市が行う県結婚支援センター登録助成事業についても説明を行う。 ※婚活事業委託業務事業者の選定にあたっては、第三者機関の認証を受けている結婚支援専門事業所を公募により選定する。</p> <p>○事業費:《649,000円》 ①企画運営人件費:[220,000円](婚活イベントと同時開催のため1/2ずつ按分) ②会場使用料:[50,000円](婚活イベントと同時開催のため1/2ずつ按分) ③参加者募集広告宣伝費:[305,000円] デザイン、チラシ200部作成、地域情報誌・HPへの広告掲載 等 ④消耗品費:[15,000円] 参加者資料作成用消耗品費、イベント用消耗品費 消費税額:[59,000円]</p> <p>当日飲食費(交付対象外経費):[160,000円](税込)</p>
	3	<p>婚活イベント前後の参加者へのフォローアップ</p> <p>○内容: イベント参加者に対し、イベント前後に個別オンライン相談(メール、SNS、オンライン面談等)を対象者に合わせて実施しサポートを行う。婚活イベント参加に関する相談のみならず、結婚を希望する若い世代の恋愛、結婚に対する様々な悩みについても相談を行うことで相談内容を踏まえた婚活イベント企画、イベント中の要フォロー者等を把握し安全安心な婚活イベント内容に反映する。あわせて、カップルとして成立した参加者に対しては、イベント終了後もオンライン交際サポートを実施する。 事前、事後相談で得た情報を受注者、市婚活プロジェクトメンバー、市担当で評価検証し、参加者ニーズ、今後の市結婚活動支援施策に反映を目的とする。 ※婚活事業委託業務事業者の選定にあたっては、第三者機関の認証を受けている結婚支援専門事業所を公募により選定する。</p> <p>○事業費:《220,000円》 ①個別オンライン相談運営費:[150,000円] ②交際サポート運営費:[50,000円] 消費税額:[20,000円]</p>
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベントカップル成立組に対し追跡アンケートを行った結果、イベント終了後1か月以内には連絡が途絶えている場合が多く、継続支援に取り組む必要がある。 ・これまで試行錯誤の結果、継続開催してきた婚活イベントだが参加者の年齢、婚活イベント参加経験等によりニーズも異なり参加者ニーズを網羅したイベント企画・運営、結婚支援の機会の創出には高度な専門性が求められる。 ・婚活イベント前後の決め細やかな支援策には、個別性、具体的な支援が必要であり、結婚支援事業者の専門的な経験と知識等も活用し取り組む必要がある。 ・県の運営支援センターの周知については、市報、市ホームページ、市公式ライン等で年間を通じた周知を行っているが、市内登録者は横ばいである。また、市が行う県結婚支援センター登録料を助成する活動応援補助金申請者数も伸び悩んでいる。R6イベント参加者アンケートの結果、県結婚支援センターに登録していないものの割合は、カップル成立者の6割、非カップル者全員であった。県結婚支援センターのPR、活用促進に繋がる機会の創出が必要である。 		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率(2030年)			1.8	1.25(2022年)
	婚姻数(2020~2025年)		件	1500	470(2020~2022年)
	出生数(2020~2025年)		人	2400	716(2020~2022年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.25(2022)	
	婚姻件数		件	156(2022)	
	婚姻率			4.0(2022)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	参加者数	人	40	22(R5)
	②	募集定員数に対する参加者数の割合	%	100	55(R5)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80	71(R6)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	64(R6)
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					